

2026年度「ヨーロッパの歴史・文化講座」年間計画 (目黒区立田道住区センター三田分室)

回	日時	テーマ	内容
第1回	4月10日	金 ギリシャ神話2 オリュンポスの神々	オリュンポスの神々のうち、昨年度の講座で扱わなかったアポロン、アルテミス(ディアナ)、アレス、ヘパイストスをとりあげる。ルネサンス以降に描かれた多くの名画を通して、その人間臭く、個性的、魅力的なギリシャ神話の神々の姿に触れる。
第2回	5月8日	金 キリスト教1 イエスの誕生～洗礼	キリスト教とともにヨーロッパ文明の源流であるギリシャ神話。数千年にわたって文化や世界観に影響を与えてきたが、ゼウスを始めとするその神々は人間臭く、個性的、魅力的であることか。ルネサンス以降に描かれた多くの名画を通して、ギリシア神話の神々の豊かな世界に触れる。
第3回	6月12日	金 中世のパリの魅力	パリの歴史は古い。ゴシック建築のノートル・ダム大聖堂、サント・シャペルが建ち、守護聖女ジュヌヴィエーヴが厚く信仰され、ジャンヌ・ダルクが活躍した中世パリをめぐる。
第4回	8月14日	金 海洋国家ヴェネチアの誕生と発展	「アドリア海の女王」、「アドリア海の真珠」と呼ばれたヴェネツィア共和国。その起源はゲルマン民族がヨーロッパに侵入した7世紀末にさかのばるとされる。18世紀末ナポレオンによって滅ぼされるまで1000年以上続いた史上最長の共和国ヴェネツィアはどのようにして誕生し、繁栄したのか。
第5回	9月11日	金 ミケランジェロとシスティーナ礼拝堂天井画	1512年10月31日、4年半の歳月をかけて完成したシスティーナ礼拝堂天井画の除幕式が行われた。集まった人々は賛嘆の声をあげた。「神の如きミケランジェロ！」それまでフレスコ画制作の経験のなかつた彫刻家ミケランジェロは、どのようにしてルネサンス最高にして最大の絵画を完成させたのか。
第6回	10月9日	金 「新大陸発見」と食文化の変化	コロンブスが新世界を「発見」した1492年ののち、東半球と西半球の間で、植物、動物、食物、奴隸を含む人びとなど甚大で広範囲にわたる交換（「コロンブス交換」）が行われるようになった。ジャガイモ、トマトなど、新世界からもたらされた食物はそれまでの世界の食文化をどのように変容させたか。
第7回	11月13日	金 オスマン・トルコとウィーン包囲	トルコの脅威からキリスト教世界を守る陸の防波堤だったウィーン。ここが決壊すればヨーロッパはイスラムの濁流にのみ込まれてしまう。1683年の第二次ウィーン包囲。30万のオスマントルコ軍に包囲されながら、キリスト教ヨーロッパ世界はどのようにして守られたのか。
第8回	1月8日	金 ハプスブルグ家とマリア・テレジア	962年に誕生した神聖ローマ帝国は、1806年ナポレオンによって滅ぼされた。この神聖ローマ帝国の皇帝位を独占したのがハプスブルク家。このハプスブルク帝国を近代化させた「女帝」マリア・テレジアの政治力を見る。
第9回	2月12日	金 トルストイ「戦争と平和」とナポレオン	トルストイは、ナポレオンのロシア遠征（1812年）の開始を「戦争がはじまった。すなわち人間の理性と人間のすべての本性に反する事件が起こった」（『戦争と平和』）と表現した。ナポレオン没落の決定的要因となったロシア遠征。その実態を、『戦争と平和』、各種証言をもとに考察する。
第10回	3月12日	金 ヒトラー 権力獲得への道のり	近現代史上前例のない組織的な大量殺戮を行ったアドルフ・ヒトラーとナチス。なぜ、これほど人種差別と憎悪に満ちた一人の男がドイツを支配し、社会全体を凶暴化し得たのか。彼の人格形成に焦点を当て、その真相を明らかにしていく。